

看護実践能力修得度調査からみた教育評価 第6報

中山和美¹⁾、宇田優子¹⁾、坪川真樹子¹⁾

1) 新潟医療福祉大学 健康科学部 看護学科

【背景・目的】A大学では毎年、卒業時に学習成果について自己評価を行うことで、4年間でのどのような看護実践能力が身についたか調査を行っている。3年間のデータ比較ならびに全国調査から考察を試みたので報告する。なお、本研究は新潟医療福祉大学倫理委員会の承認を得て実施した。

【方法】A大学看護学科4年生を対象に卒業前の平成28年2月に自記式質問票を配付しその場で記入してもらい提出させた。その際に得られたデータを研究として取り扱うことの可否を同意書により確認した。

調査票には看護実践能力の構造(5能力群、20能力、55到達目標ならびに学習成果202項目)を示したうえで、学習成果について「できない」から「よくできる」の4段階で自己評価をさせた。学習成果評価点を該当する20能力に集約して平均値を求め、24年3月の報告1)(全国の看護大学生765名(うち回収率50%)の調査結果)と比較した。またA大学において過去に実施した学生の自己評価2)3)とも比較した。

【結果】研究の趣旨を説明し同意の得られた81名(100%)の結果を本研究において分析した。

表1に修得すべき20の看護実践能力と年次別・全国平均を示した。平成27年に引き続き、すべての項目においてポイントが全国平均を上回った。平成27年より0.1ポイント以上に上昇しているのは「8. 地域査定」「13. 終末期のケア」「14. 看護の質改善」「15. 地域ケアの機能充実」「16. 安全なケア環境」「19. 生涯学習」の6項目であった。「18. 看護を創造するための基礎となる能力」は2点台ではあるが、毎年右肩上がりであり上昇している。

【考察】実践能力1~3の項目が該当する「ヒューマンケアの基本に関する能力」はこれまでと同じ水準を維持しているうえ、平成26年に2点台だった「4. 根拠に基づいた看護の提供」「6. 健康レベルの査定」「8. 地域特性のアセスメント」「10. 健康の保持増進」「11. 急性期の援助」「14. 看護ケアの質改善」「15. 地域ケアの構築」「19. 生涯学習」「20. 看護の専門性」は「18. 看護の創造」を残し、すべて3点台に改善した。

このような結果を得られたのは1)卒業時到達目標を新年度ごとのオリエンテーションで説明することで、自分が修得すべき看護実践能力に対する意識が高まった可能性があること。2)統合実習や看護実践論の強化、充実により

実践能力を高めるような教育内容となったこと。3)教員FDを通し、科目担当者が教育方法や内容を改善していること、が挙げられる。

今後も卒業時到達目標の水準維持ならびに更なる向上をめざして教育に活用できるよう検討を重ねていきたい。

＜表1.20 実践能力における年次別平均・全国との比較＞

看護実践能力(20項目)	H26	H27	H28	全国
1. 対象の尊厳と権利を擁護	3.32	3.58	3.57	3.3
2. 実施する看護の説明と同意	3.29	3.51	3.50	3.3
3. 援助的関係の形成	3.01	3.26	3.32	3.0
4. 根拠に基づいた看護の提供	2.78	3.15	3.24	2.9
5. 計画的に看護を実践	3.11	3.41	3.40	3.2
6. 健康レベル・成長発達の査定	2.82	3.08	3.14	2.7
7. 個人・家族生活の査定	3.03	3.23	3.31	3.1
8. 地域特性・健康課題の査定	2.83	3.02	3.23	2.9
9. 援助技術を適切に実施	3.07	3.27	3.33	3.2
10. 健康の保持増進と疾病予防	2.96	3.21	3.25	3.0
11. 急性期・回復期の援助	2.84	3.03	3.09	2.8
12. 慢性疾患をもつ人への援助	2.95	3.20	3.27	3.0
13. 終末期にある人への援助	3.17	3.38	3.54	3.0
14. 看護ケアの質改善	2.77	3.03	3.16	2.8
15. 地域ケアの構築・機能充実	2.79	3.02	3.17	2.8
16. 安全なケア環境	3.10	3.36	3.46	3.2
17. 保健医療福祉の協働・連携	3.12	3.35	3.44	3.2
18. 看護を創造するための基礎	2.63	2.92	2.97	2.7
19. 生涯学習・継続学習	2.99	3.25	3.35	3.2
20. 看護の専門性	2.82	3.14	3.20	3.0

【結論】学生の自己評価は教育評価の1つの指標であり、この結果から、これまで行ってきた看護教育は学生の看護実践能力を育成していると考えられる。同時に意識づけの強化が自己評価を押し上げている可能性を示唆した。

【文献】

- 1) 日本看護系大学協議会：大学卒業時到達度の評価手法開発のための調査研究報告書，3，2012.
- 2) 中山和美ほか：看護実践能力修得度調査からみた教育評価 第4報，第14回新潟医療福祉学会学術集会，10，2014.
- 3) 中山和美ほか：看護実践能力修得度調査からみた教育評価 第5報，第15回新潟医療福祉学会学術集会，10，2015.